

●ここに注目！下水道展'17 東京 設計・測量ゾーン
関東支部＜水コン協カフェで“本音”を聞く＞

ここに注目！下水道展'17 東京

出展ゾーン別
の見どころ

設計・測量ゾーンは東第4
ホールの中ほどにあります

が、水コンサルタントの傾向
を見るには、まず水コン協フ
ースを訪ねることをお勧め
します。ここは東6ホールに
あるパブリックゾーンの端に
あるので分かりやすいです。

水コン協ブースでは、今年も
「水コンカフェ'17東京」で水
コンサルタントの若手社員が
水コンサルタントの仕事を紹
介しますが、ある意味で本音
が語られるので興味深いで
す。そもそも、コンサルタン
トは発注者である自治体を支
援する立場にあるのですか
ら、先見性や技術力、説得力
が求められています。そのた
めに、社内の人材育成をどの
ようにしているかの本音が聞
けるとよいでしょう。人材育
成は自治体にとってもコンサ

ルタントにとっても事業継続
のキーワードです。

水コン協ブースまで来た
ら、国交省や東京都のパブリ
ックゾーンもそいっておく
とよいでしょう。東京都は「見
せる下水道」の展示が楽し
み

です。日本下水道新技術機構
の研究成果もチェックしてお
いてください。最近の技術動
向がわかります。

下水道事業においてコンサ
ルタントが関わる自治体の課
題は浸水対策、合流改善対
策、震災対策など山積してい
ます。また、施設の老朽化に
対してストックマネジメント

や長寿命化計画があり、今後
の事業経営については包括民
間委託やPPPがあります。

浸水対策は、外水・内水ハザ
ードマップ作成が必須です
し、震災対策ではBCP策定
支援において事前対策計画、
非常時対応計画、訓練・維持
改善計画の策定が骨子にな
ります。PPPについては、ま
だ先行事例は少ないものの、

中小規模下水道事業者におい
て順次展開していくのとし
て目が離せません。

日本コンではこの分野を網
羅的に扱っています。日本工
営は総合的な企業ですが「漏
流式水面制御技術」を用いて
合流改善事業で実績を上げて
います。パスコは空間情報技
術を得意としています。今

回は維持管理ゾーンに出展し
ているので東5ホールにあり
ます。中央設計技術研究所
は、バイオマス施設計画や消
化ガス有効利用計画などを扱
っている石川県のコンサルタ
ントです。今回は小規模バイ
オマスやアセットマネジメント
の提案を行います。

ところで、毎年、気になる
のですが、水コン協会員は1
00社ほどある

にもかわらず
下水道展に出展
するのはわずか、今回もア
ブースにすぎませんでした。

参加しない理由がコストパフ
ォーマンスなのかどうかは不
明ですが、残念なことです。
なかには規模が小さくて参加
したくても参加できない企業
もあるようですが、全国展開
している大手水コンサルタン
トは、ぜひ、次回から参加し
ていただきたいものです。

水コンカフェで“本音”を聞く

設計・測量ゾーン

(環境システム計測制御学会
名誉会員 中里卓治)